

平成 22 年 4 月 15 日

地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 三重大学生物資源学部

氏 名 伊藤進一郎

活動テーマ	伊勢湾海岸マツ林再生プロジェクト －伊勢市の海岸マツ林再生の事例から－
実施期間	平成 21 年 5 月 22 日 ～ 平成 22 年 3 月 31 日
活動内容	<p>5 月 活動方針に関して、打ち合わせを行なった。 海岸マツ林に関する住民の意識を調べるため、約 1800 所帯にアンケート用紙を郵送し、調査を行った（回答率約 50%）。</p> <p>6 月 今後の調査の方法等について、打ち合わせ会議を行なった。</p> <p>7 月 二見町の海岸マツ林におけるマツ枯れの現状を把握するため、調査地を 5 箇所設定し、調査を実施した。 防除の対象となるマツノマダラカミキリの羽化脱出に関して、1992 年度以降のデータを整理した。</p> <p>8 月 三重県における、今年のマツノマダラカミキリの羽化脱出のデータを整理した。 調査結果に関して、検討を行なった。</p> <p>10 月 今年度のマツ枯れ被害が終息した時期に、7 月に設定して調査地において、今年度のマツ枯れ被害の状況と、植生の調査を実施した。</p> <p>11 月 被害の発生したマツ林を再生するための植林を行うため、対象マツ林の清掃活動を行った。 今一色小学校の生徒と三重大学学生、地域住民とともに、抵抗性マツの植栽を行った。 マツ林再生の啓蒙活動として、二見秋祭りに参加した住民を対象に、三重県樹木医会の樹木医さんから、「マツ枯れ（マツ材線虫病）」に関する説明会を開催した。</p> <p>12 月 三重大学の学生と二見町今一色町の住民が、抵抗性マツの植林を行った。</p>
継続希望の有無	無



二見町海岸マツ林におけるマツ枯れの状況(1)



二見町海岸マツ林におけるマツ枯れの状況(2)



マツ枯れ被害の現状調査



マツ枯れ説明会(啓蒙活動)



植生調査



地域住民に対するマツ枯れの説明



地域住民との抵抗性マツの植林作業